

教育後援会だより

発行/朝日大学歯学部 教育後援会
〒501-0296 岐阜県瑞穂市 穂積1851番地
TEL 058-329-1111 内線1721
058-329-1198 (直通)
FAX 058-329-1069

『教育後援会だより』

九号の発刊に寄せて



教育後援会

会長 森 襄介

会員の皆様にはますますご清
祥でお過ごしのこととお慶び申
し上げます。

さて、私は今年度の総会にお
いて再度会長に選任されました。
今年も皆様のご協力とご支援を
よろしくお願い申し上げます。

日頃私たち教育後援会は大学
の教育方針に沿った節度ある関
係を保ちながら、今まで培って
きた信頼関係を大切に、また
様々な新しい事業も行いたい
と思っております。

その一環として従来から最も
大切な事業としておりました支
部懇談会に加え、新たに後援会
のホームページを立ち上げるこ
とになりました。この新規事業
においてはご協力をいただいた
岐阜支部の役員であります岩崎
様、又事務の皆様には改めてお

礼を申し上げます。

一人でも多くの会員の皆様が
アクセスしていただき、有効に
活用していただきますようここ
ろからお願いたします。

今年度は従来の支部懇談会と
は異なり、個人情報保護法に基
づき学生の出席状況等を個人面
談において会員の皆様にお伝え
することが出来なくなりました。
しかし大学の教育方針や進級、
卒業にかんする規定等を詳しく
お話しご理解いただく方針は従
来と変わりません。

一人でも多くの会員の皆様の
ご出席をお願い申し上げます。

最後に朝日大学と教育後援会
の発展と、会員の皆様のますま
すのご健勝を願い挨拶とさせて
いただきます。

平成17年度 教育後援会支部懇談会日程

本年も6月11日(土) 北海道・東北・関東・甲信越・東京支部懇談会を
皮切りに全国8会場において支部懇談会を次のとおり開催します。大学から
も多数の先生方へ出席いただけますので是非ご出席ください。

開催日	支部名	場所	大学出席者
6月11日(土) 12:00～16:00	北海道 東北 関東 甲信越 東京	南国酒家原宿店	◎中嶋教授 ◎後藤教授 ☆永原教授
6月25日(土) 15:00～21:45	静岡・愛知	アパホテル名古屋錦	◎高井教授 ◎高鶴教授 ☆土屋教授
6月25日(土) 14:00～20:00	四国	高松東急イン	◎平田教授 ◎柏村教授 ☆田村教授
7月2日(土) 14:00～19:30	岐阜 三重 陸州 縄外	ウェルサンピア岐阜	◎小川教授 ◎石神助教授 ◎裕村教授 ☆田井教授 ☆土橋教授
7月9日(土) 14:00～18:00	兵庫	神戸ポートピアホテル	◎小川教授 ◎中嶋教授 ☆田井教授
7月10日(日) 12:00～17:00	中国	サン・ビーチOKAYAMA	◎平田教授 ◎磯尾教授 ☆都北講師
7月16日(土) 14:00～19:00	大阪 奈良・和歌山	東洋ホテル	◎小川教授 ◎中嶋教授 ◎北堀講師 ◎磯崎教授 ☆土北講師
7月30日(土) 14:00～20:00	滋賀・京都	京都センチュリーホテル	◎平田教授 ◎永原教授 ☆磯崎教授 ☆土屋教授

(◎印は教務説明者 ○印は学力強化説明者 ☆印は学生生活説明者)

平成17年度 役員紹介

顧問 宮田 侑 学校法人朝日大学理事長
長坂 信夫 学 長
藤下 昌己 歯学部長
西垣 浩 歯学部事務部長

会 長 森 襄介

副会長 山田 幸治
西田 敦宜
松岡 豊明

常任幹事 高木 徹 支部長
(北海道・東北・関東・甲信越・東京)
川原 英之 支部長(静岡・愛知)
長屋 淑文 支部長(岐阜)
水越 弘 支部長(三重)
多田 利男 支部長(北陸)
浦壁 正夫 支部長(滋賀・京都)
林 範昭 支部長(奈良・和歌山)
藤田 知洋 支部長(大阪)
倉橋 務 支部長(兵庫)
岸 幹二 支部長(中国)
前田 典昭 支部長(四国)
高森 康壽 支部長(九州)
盛島 明隆 支部長(沖縄)

会計幹事 清水 浩一

監 事 三輪 嘉道
高木 久正

※教育後援会への要望等がありましたら、ご遠慮なく支部
長までご連絡ください。

新年度の挨拶



歯学部長
藤下 昌己

朝日大学理事会より継続してもう一期学部長を拝命することになりました。教育後援会会員の皆様には、さらに二年間ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年もまた、一学年二二八名、二学年からの編入二名と新入生一三〇名を迎え、新年度がスタートしました。新カリキュラムになって三年目となりますが、いよいよ今年度から本格的に運用される共用試験、同じく来年の歯科医師国家試験合格者から必修化(平成十八年度)される卒後の臨床研修とそのため診療参加型臨床実習(患者実習)の導入など、大学はそれらの課題に対応すべく着々と準備を進めております。また、教育後援会総会(四月二十三日)で報告しましたように、今年度の国家試験の結果は昨年について相対評価が導入され、厳しい評価が下されました。総受験者数三、三四三名で合格者は二、四九三名、全国平均で合格率七四・六(昨年は七四・二)%と抑えられています。本学は、新卒と既卒を含めた一四八名中一一二名が合格し、合格率は七五・七%でした。来年は国家試験出題基準の改訂が行われ、問題数も多くなりますし、卒後研修に併せて試験日も一ヶ月は早くなります。ますます国家試験が厳しくなることが予測されます。

今年も六月からは全国八カ所で教育後援会の支部懇談会が始まりますし、六学年に対して六月五日(日)に大学主催の教育懇談会および三者面談を実施します。現在、共用試験、卒後臨床研修、診療参加型臨床実習(患者実習)の導入などとともに、このような国家試験に対応すべく学力強化の対策も勘案しております。教育後援会の会員の皆様方には懇談会等に出席され、大学の置かれております状況等にご理解をいただき、皆様方と連携をとることによりお子様方の学力・技能の一層の向上に繋がればと思いますので、今年もまたどうぞよろしくお願い申し上げます。

本学の歯学教育システム



教務委員長
小川 知彦

本学の教育目標は、建学の精神に則り、社会的ニーズの変化や自然科学、生命科学のめざましい進歩に伴い、国際性、社会性かつ人間性豊かで医療技術的に国民から信頼される、優れた歯科医師の養成を目指しています。これらの教育目標を達成するために、二〇〇

三年度の新入生から、新カリキュラムを導入して三年目を迎えました。六年一貫教育のなかで、二十一世紀医学医療懇談会の報告書にある臨床実習前教育として、準備教育および歯学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した学習到達目標に則した授業科目を各学年に開講しています。一学年には、本学において特徴的な病院見学などを含む早期体験学習や対話型講義形態を導入した基礎ゼミを開講しています。また、物理学・化学・生物学などの基礎学力の向上に力をいれています。二、四学年は歯学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠し、歯科医学に必要な基礎・臨床教育科目ならびに隣接医学系科目を学びます。五、六学年は臨床基礎歯科学を含む課題講義ならびに臨床実習を開講し、臨床実習開始前に習得した知識・技能・態度を実践の場で体得します。また、卒業

認定された学生は歯科医師国家試験を受験する資格を得ますが、本年も高い合格率を誇っています。また、二〇〇六年度から卒後臨床研修が義務化され、そのための研修機関として設備の充実に努めています。さらに、歯科医学に関する優れたスタッフや研究機器を備えた大学院システムの充実をはかっています。朝日大学歯学部は、社会のニーズにすばやく応える柔軟性をもって、厳格かつ温かい歯科医学教育・研究体制のもとで歯科医師を養成していきます。

学生生活委員会の活動



学生生活委員長
田村 康夫

この度、歯学部学生生活委員長を拝命いたしました。入学から卒業まで大学生活が順調に行けばそれに越したことはないのですが、その間、学生の周りには精神的、肉体的、また社会的に様々な

ことが起こってくると思います。例えば、体調を崩したり事故に巻き込まれ大学を欠席したり、また学内では友人関係やクラブ活動や学業で悩むこともあります。高学年になってからは就職進路で悩むこともあります。学生生活委員会は、学生達が学生生活を営む上で問題が生じてきた場合、学生の相談にのり解決のためにあらゆる支援をする組織です。委員には、一年生担当として土屋博紀教授(英語学)と、一年生と全学女子担当で大橋たみえ助教授(社会口腔保健学)の二人をお願いしました。その他、磯崎篤則教授(六年担当、社会口腔保健学)、永原國史教授(五年担当、インプラント学)、

北井則行教授(五年担当、歯科矯正学)、都尾元宣教授(四年担当、歯科補綴学)、北後光信講師(三年担当、歯周病学)、土井豊教授(二年担当、歯科理工学)の計九名で構成しています。ご父兄の皆様は、学生生活上に何かありましたら早めに、私か各学年学生生活委員に相談して欲しいと思います。

個人情報保護法と医療



健康管理センター長
渡辺 郁雄

「個人情報の保護に関する法律」(個人情報保護法)が四月より施行されました。私たちの名前、住所、生年月日、電話番号、職業、資産、経歴、健康状態、宗教など、個人情報の中には私たちが知られたくないこともあるのに、私たちが望まない形で利用されると、犯罪に用いられたり、情報がITを用いて瞬時に近隣どころか世界中に届きます。

この法律の骨子はOECD(経済協力開発機構)のいう八原則を中心としており、要約すれば個人情報の収集にあたってはその利用目的を明示・説明した上で、適切な方法で収集し、安全に保管し、本人が情報があるかどうかに収集・利用されているかを確認でき、それによって訂正、利用の中止を求めることができるとなっています。健康状態や病気の情報は個人にとって究極のプライバシーであるので、医療界には「守秘義務」(業務上知り得た他人の情報を漏らしてはいけない)という法律があります。その意味では本学は驚くほどのことではありません。各医療機関では本法の実際の運用についてはまだ模索中です。例えば外来で患者名を呼んでよいのか、入院中病室に名前を出してよいのか、診察室での話し声が外部に聞こえるのはどうするか、次の受診者のカルテが見えないようにするなど、一見些細なことでも、本人の承諾なしに家族にも病状が話せないとか、入院の有無の問い合わせに答えられないなど、実情からは実施しにくいことや、さらにはコン

ピューターのセキュリティ確保や建物の一部改築などまでが迫られており、医療機関は相当の費用負担と手間隙をかける必要が生じ、さらには間違い防止の安全面では確実にリスクが増えます。医療機関における情報の伝達には重要でかつ複雑です。本法が十分遵守されるか否かは、最終的には医療職者のすべてが本法の目的とするところを十分理解しているかどうかによるところが大きいです。具体的行動マニュアルの実施のみにこだわらず、手間の安全面のリスクが増えるだけの本末転倒にならないよう気をつけたいと自戒している次第です。

平成十七年度 学年指導教授・指導教員紹介

学生諸君が今年も充実した学生生活が過ごせるよう、助言するために各学年ごとに指導教授・指導教員が次のとおり決められております。
ご子女で、特に一年生につきましては、大学生活への期待と不安を抱きながら学問研究・真理研究・サークル活動にそれぞれ構想を抱いていると思いますが、悩み事等がある場合には、躊躇することなく、相談するようご指導ください。きっと良い相談相手になってくださると思います。

一学年



教務担当
鶴房 繁和 教授
(化学)



教務担当
後藤 隆泰 教授
(物理学)



学生生活担当
土屋 博紀 教授
(英語)



学生生活担当
大橋 たみえ 助教授
(口腔衛生学)

二学年



教務担当
柏保 正典 教授
(歯科薬理学)



教務担当
碓 哲崇 助教授
(口腔生理学)



学生生活担当
土井 豊 教授
(歯科理工学)

三学年



教務担当
平田 健一 教授
(歯冠修復学)



教務担当
堀田 正人 講師
(歯冠修復学)



学生生活担当
北後 光信 講師
(歯周病学)

四学年



教務担当
高井 良招 教授
(顎顔面外科)



教務担当
石神 元 助教授
(歯冠補綴架工義歯学)



学生生活担当
都尾 元宣 教授
(局部床義歯学)



教務・学生生活担当
永原 國央 教授
(インプラント学)

五学年



教務・学生生活担当
北井 則行 教授
(歯科矯正学)



教務担当
中嶋 正人 教授
(歯内療法)



教務・学生生活担当
磯崎 篤則 教授
(口腔衛生学)

六学年



() は担当授業科目

初年度教育の目的とその意義

一学年指導教授 鶴房 繁和 (化学)

例年ならば、入学式を迎える頃には、大学構内の桜はすっかり葉桜になっていることが多いのですが、今年の春は例年より遅く、ちょうど満開の桜が新入生諸君を迎えてくれました。入学式以来、学長をはじめ様々な立場の教員から、最終目標である国家試験までの道のりの厳しさと現状についての話を聞き、少し身が引き締まった新入生も多かったのではないのでしょうか。しかし、この大学側の話は誇張でも脅しでもなく、現実だということを学生諸君共々ご父兄の皆さんにも、強く認識していただきたいと思っております。

その緊張感も、GWを過ぎると徐々に解放されてきて、本来の自分を取り戻してくる学生が多くなり、講義の出席や受講態度に表れてくるようになります。誰しも長時間の緊張感を維持することは困難ですが、リラクセスする箇所と緊張感を維持し続けなければならぬ箇所を自己判断できるかどうかで、六年間の道のりの平坦さが変わってくるものと思われま。

す。ここ数年、新入生のご父兄が歯科医師、歯科関係者、本学卒業生である割合が急激に増加しており、七割前後を占めるのではないかと考えられます。ご父兄にとっては、勝手知ったる領域にご子弟を進学させ、安心されている面もあるのではないのでしょうか。しかし、このことは教員サイドにとりまして、また学生本人にとりて必ずしも勉学の助けになることばかりではないと思います。そこで、一学年においては、学生自身は皆、単なる「一学生」であり、六年間の課程を修了し、国試合格後に初めてその一歩が踏み出せること。また、ご父兄などを通して大学関係者、歯科関係者への知己の有る無しで、一切の利益不利益は被らない、全学生はすべて公平であるということ徹底してまいります。ご父兄にとりて失礼な文章になり申し訳ありませんが、この事は、言うまでもなく当然であるはずの事ですが、残念ながら今でもごく一部のご父兄、学生諸君に、身内感覚の誤解が見受けられます。次に、ここ数年、新入生の学力、一般常識の低下は想像以上のものがありま

す。にもかかわらず、依然として、国試科目ではない数学、物理、化学、生物や英語などは不要で時間の無駄であるという専門学校的な考えで、一学年をすごそうとしている学生がいるという事です。折に触れ、特に理科系の学部では基礎学力の重要性を何度も強調してきてました。せめて、高等学校レベルの学習内容を理解する努力が出来なければ、全国国公私立二十九大学の学生と、同じ公的試験(CBT, OSC E, 国試)で対等に勝負する事が困難であるという事です。従って、本学一年生教育では、六年間の学生生活における勉学リズムの定着を大きな目的の一つにしています。すなわち、授業→試験→授業→試験→の繰り返しにおいて、その節目で、クラブ活動や、日々の日常生活からの頭の切り替えを体で覚える事です。勉強するときに遊ぶときのケジメを明確にする事です。しかし、六年間通して、学習への緊張感を持ち続ける事は誰しも困難な事です。そのために、歯科医になるという Motivation (動機づけ、やる気) を、一学年から明確にするために、基礎ゼミ、早期体験学習、歯学概論などの講義を開講してまいります。学生諸君が、六年間高い Motivation を維持できるかどうかは、この大学側の意図をお酌み取り頂き、ご父兄からの後方支援を頂かなければなりません。どうか、よろしくご理解とご支援をお願いいたします。

指導教授・指導教員からひとこと

二年後に備えて

平成十七年度から基礎・臨床の知識をコンピュータを用いた客観試験(CBT)と態度・臨床技能を客観的臨床能力試験(OSCE)で評価する共用試験がいよいよスタートしました。本学では平成十八年度から四学年で実施し、五学年への進級要件の一つとして導入することが決まっておりますが、

四学年指導教授 高井 良招 (口腔外科学分野)

詳細は今後の教授会決定を待つところであり、共用試験は国家試験とは異なり、学生の能力と適性について一定水準を確保する全国共通標準試験であるとされておりますが、臨床実習へ進むための大きな関門であり、その重要性は国家試験に匹敵するものであると思われま。

本年度四学年の学生諸君にはCBTとOSCEの両試験とも受験していただきますが、あくまでも自分の実力を計る試験として進級要件からは除外いたします。しかし、二年後の国家試験では他大学の共用試験を合格した学生と同じ土俵上で戦うことになるわけです。最近の高度になった国家試験を一度でクリアするためには継続した勉学が必要であり、一年先のことを考えず、今からコツコツと積み重ねた努力をして、来るべき日のために備えていただきたいものです。

学 年 暦

Table with 7 columns: 月日, 1学年, 2学年, 3学年, 4学年, 5学年, 6学年. Contains academic calendar details for each year, including exam dates and holidays.

(参考) 第37回日本歯科学生総合体育大会(平成17年7月29日(金)~8月11日(木))

*なお、上記学年暦は5月1日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

歯科医師臨床研修施設ガイド

財団法人歯科医療研修振興財団発行の「歯科医師臨床施設ガイド(平成16年度版)」からおもな歯科医師臨床研修施設を抜粋しましたので参考にしてください。

臨床研修施設である大学等附属病院

□歯科大学・歯学部附属病院

Table listing dental university and department affiliated hospitals across various prefectures, including contact information.

□医科大学・医学部附属病院

Table listing medical university and faculty affiliated hospitals across various prefectures, including contact information.

Table listing various hospital names and their phone numbers, organized by region.

臨床研修施設として指定されている医療機関

□病院

Table listing specific hospitals and their phone numbers.



朝日大学では、インターネットによる「朝日大学ホームページ」を開設しております。ホームページは、学内行事などの紹介ページに始まり、「建学の精神・教育理念」「沿革と組織」「学長メッセージ」「学部長メッセージ」「学部紹介」等内容豊富となっておりますので、自宅からも朝日大学の概要を知ることができます。是非一度アクセスしてみてください。ホームページのアドレスは、http://www.asahi-u.ac.jp/ です。

●おねがい●

平成17年度の会員名簿は平成17年4月6日現在で作成致しました。誤記等の場合は添付の用紙でお知らせ下さい。